


公益社団法人日本技術士会東北本部 岩手県支部事業活動報告

事業名	岩手県沿岸広域振興局大船渡土木センター 昭和橋シンポジウムにおける講演
委員会・研究会名	県支部 村上 功
日時	平成 30 年 5 月 30 日 (水) 19 : 10 ~ 19 : 40
場所	住田町役場 町民ホール
参加人数等	約 40 人
活 動 内 容	
<p>近年、短時間豪雨や総雨量が数百ミリに達する大雨が各所で発生し、甚大な被害が多発している。今後も短時間豪雨の発生頻度や降水量の増大が予想されており、洪水被害のリスクが高まっている。</p> <p>このような状況を踏まえ、住民の皆様と行政が一体となって、水害リスクに関する知識と心構えを共有することが大切と考える。</p> <p>県は平成 26 年の津付ダムの事業中止決定を受けて、ダムに替わる新たな治水対策を進めてきた。住田町世田米に位置する、昭和橋は昭和 8 年に建設された老朽橋である。この橋は支間長が約 9 メートルとなっており、河川管理施設等構造令が規定する基準径間長を満たしていないなどの問題を抱えている。したがって、大雨などによって上流からの流木が橋に滞留し、河道を閉塞した場合、洪水被害拡大リスクが高くなる。</p> <p>こうした現状を踏まえて、県支部として平成 28 年 8 月の台風 10 号による岩泉町安家川の被災事例と復旧計画事例を紹介することによって、住民の治水対策に対する情報の共有と共通認識の醸成に寄与しようとするものである。</p> <p>シンポジウムは、以下の要領で開催された。</p> <p>第一部 基調講演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 講師/公益社団法人日本技術士会東北本部岩手県支部 村上 功 氏</li> <li>○ 講師/大日本コンサルタント株式会社 池田 大樹 氏 西山 稔 氏</li> </ul> <p>第二部 『昭和橋』 アンケート報告及び意見交換</p> <p>この、シンポジウムでは、活発な意見交換がなされ、住民の方々の関心の高さをうかがい知ることができた。</p>	
	

(※ 活動状況の写真を貼り付けてください。)